

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-242714

(43) 公開日 平成11年(1999) 9月7日

(51) IntCl <sup>*</sup>	識別記号	F I
G 0 6 F 19/00		G 0 6 F 15/28 Z
B 4 2 D 15/10	5 3 1	B 4 2 D 15/10 5 3 1 D
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00 3 5 1 G
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20 1 0 1 B
12/58		

審査請求 未請求 請求項の数33 O L (全 31 頁)

(21) 出願番号 特願平10-335458

(22) 出願日 平成10年(1998)11月26日

(31) 優先権主張番号 60/066952

(32) 優先日 1997年11月26日

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(31) 優先権主張番号 09/166820

(32) 優先日 1998年10月5日

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 394025924

株式会社博報堂

東京都港区芝浦3丁目4番1号

(72) 発明者 杉本 秀雄

東京都江東区牡丹3-11-1-503

(72) 発明者 石川 幸夫

神奈川県横浜市磯子区森5-12-30

(72) 発明者 三神 正樹

神奈川県横浜市戸塚区品濃町535-2、D

-606

(74) 代理人 弁理士 野本 陽一

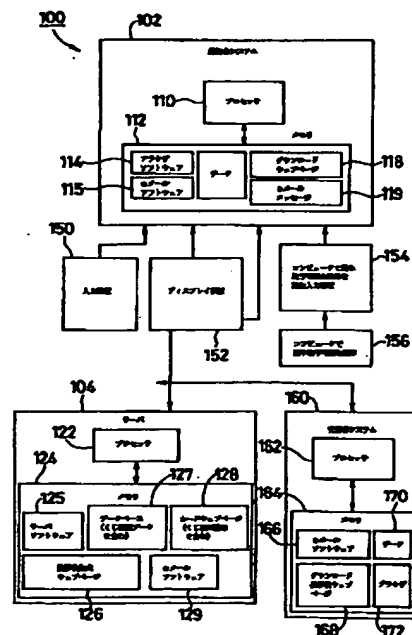
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 懸賞くじ付き相互挨拶状の送信方法及び装置

(57) 【要約】

【課題】 送信者が電子挨拶状を一人以上の受信者に送信することができ、送信者が選択した景品についてのくじ抽選の付いた懸賞くじ付き相互挨拶状の送信方法を提供する。

【解決手段】 挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させる手順と、複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取る手順と、送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送る手順と、挨拶状の送信に関連して、景品が当選するくじ抽選への応募を設定する手順とを備えた、データ処理システムによる送信方法である。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させる手順と、複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取る手順と、

送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送る手順と、

挨拶状の送信に関連して、景品が当選するくじ抽選への応募を設定する手順とを備えた、データ処理システムによる懸賞くじ付き相互挨拶状の送信方法。

【請求項2】 送信者及び受信者の双方が当選する可能性のあるくじ抽選の付いた挨拶状の発信者および受信者を登録する手順を備えたことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項3】 応募するくじ抽選の景品を送信者に選択させることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項4】 受信者に他の受信者宛の挨拶状を送信させ、かつ前記受信者と第二の受信者のために他のくじ抽選を設定する手順を備えたことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項5】 他のくじ抽選への応募が、別の景品を当てるくじ抽選へのものであることを特徴とする請求項4記載の方法。

【請求項6】 くじ抽選の当選者を決定し、かつ当選者である送信者および受信者へ景品を付与する手順を備えたことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項7】 選択された景品の当選落選を個人用ウェブページで送信者にチェックさせる手順を備えたことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項8】 選択された景品の当選落選を個人用ウェブページで受信者にチェックさせる手順を備えたことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項9】 挨拶状が時間感応性を備えた挨拶状であって、挨拶状を見る時期により異なって表示されることを特徴とする請求項1の方法。

【請求項10】 受信者が予め定められた時期に先立って時間感応性挨拶状を見ようとしても、これを見ることができないようにしてあることを特徴とする請求項9記載の方法。

【請求項11】 挨拶状が年賀状である場合に、特定の日に限って年賀状全体が表示されることを特徴とする請求項9記載の方法。

【請求項12】 予め定められた時期に挨拶状を見る場合に、時間感応性挨拶状が特別画面を表示することを特徴とする請求項9記載の方法。

【請求項13】 無作為によるくじ抽選が完了した後、送信者または受信者のみが、選択された景品の当選落選を確認することができることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項14】 選択された景品に関する広告が挨拶状

に含まれていることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項15】 複数の景品のうちの一つに関する複数の広告が、挨拶状を作成するのに使用されるウェブサイトに含まれていることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項16】 選択された景品に関する広告が、くじ抽選番号が当たりくじ番号であるか否かを確認するのに使用されるウェブページに含まれていることを特徴とする請求項1記載の方法。

10 【請求項17】 特定の日に挨拶状を見る場合に、その特定の日のための特別画面が表示されることを特徴とする請求項9記載の方法。

【請求項18】 異なる広告主がスポンサーである複数の「コース」の一つのうちの最初の挨拶状を送信者が作成する前に、送信者にアンケートに記入するよう要請することを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項19】 送信者のアンケートの回答に従って送信者向けに作成される見出し広告が表示されることを特徴とする請求項18記載の方法。

20 【請求項20】 送信者に挨拶状をデザインさせる受信手順が、景品を提供する複数の広告主のそれぞれについて複数の「コース」を表示する手順を備えていることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項21】 送信者によって選択されたコースの中で送信者に景品を選択させる手順を含んでいることを特徴とする請求項20記載の方法。

【請求項22】 挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させる手順と、複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取る手順と、

30 送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送る手順と、

送信者が送信しかつ受信する全ての挨拶状情報を送信者に見させる送信者のための個人向けの動的に作成されたウェブページを作成する手順と、

受信者が送信しかつ受信する全ての挨拶状情報を受信者に見させる受信者のための個人向けの動的に作成されたウェブページを作成する手順とを備えた、データ処理システムによる懸賞くじ付き相互挨拶状の送信方法。

40 【請求項23】 受信者が送信者から送られる挨拶状の通知を受け取ったときに、受信者に他の人へ向けて挨拶状を送らせることを特徴とする請求項22記載の方法。

【請求項24】 受信者が何時でも誰が挨拶状を送信したか見ることはできるが、予め定められた期間は挨拶状の中味だけしか見ることを特徴とする請求項22記載の方法。

【請求項25】 送信者へ電子メールを送信、確認することよりなる請求項1記載の方法。

50 【請求項26】 挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させる構成部分と、

複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取る構成部分と、

送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送る構成部分と、

挨拶状の送信と関連して、景品が当選するくじ抽選への応募を設定する構成部分とを備えた、データ処理システムによる懸賞くじ付き相互挨拶状の送信装置。

【請求項27】 挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させる構成部分と、

複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取る構成部分と、

送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送る構成部分と、

送信者が送信しかつ受信する全ての挨拶状情報を送信者に見させる送信者のための個人向けの動的に作成されたウェブページを作成する構成部分と、

受信者が送信しかつ受信する全ての挨拶状情報を受信者に見させる受信者のための個人向けの動的に作成されたウェブページを作成する構成部分とを備えた、データ処理システムによる懸賞くじ付き相互挨拶状の送信装置。

【請求項28】 くじ抽選付き挨拶状に係るアクティビティを実施させる、コンピュータ読取り可能なコードを有し、コンピュータで使用できるメディアよりなるコンピュータ・プログラム・プロダクトであって、

挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させるコンピュータ読取り可能なプログラム・コード装置と、

複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取るコンピュータ読取り可能なプログラム・コード装置と、

送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送るコンピュータ読取り可能なプログラム・コード装置と、

挨拶状の送信と関連して、景品が当選するくじ抽選への応募を設定するコンピュータ読取り可能なプログラム・コード装置とを備えたことを特徴とするコンピュータ・プログラム・プロダクト。

【請求項29】 くじ抽選付き挨拶状に係るアクティビティを実施させる、コンピュータ読取り可能なコードを有し、コンピュータで使用できるメディアよりなるコンピュータ・プログラム・プロダクトであって、

挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させるコンピュータ読取り可能なプログラム・コード装置と、

複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取るコンピュータ読取り可能なプログラム・コード装置と、

送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送るコンピュータ読取り可能なプログラム・コード装置と、

送信者が送信しかつ受信する全ての挨拶状情報を送信者に見させる送信者のための個人向けの動的に作成されたウェブページを作成するコンピュータ読取り可能なプログラム・コード装置と、

受信者が送信しかつ受信する全ての挨拶状情報を受信者に見させる受信者のための個人向けの動的に作成されたウェブページを作成するコンピュータ読取り可能なプログラム・コード装置とを備えたことを特徴とするコンピュータ・プログラム・プロダクト。

10 【請求項30】 挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させる手段と、

複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取る手段と、

送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送る手段と、

挨拶状の送信と関連して、景品が当選するくじ抽選への応募を設定する手段とを備えた、データ処理システムによる懸賞くじ付き相互挨拶状の送信装置。

20 【請求項31】 挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させる手段と、

複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取る手段と、

送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送る手段と、

30 送信者が送信しかつ受信する全ての挨拶状情報を送信者に見させる送信者のための個人向けの動的に作成されたウェブページを作成する手段と、

受信者が送信しかつ受信する全ての挨拶状情報を受信者に見させる受信者のための個人向けの動的に作成されたウェブページを作成する手段とを備えた、データ処理システムによる懸賞くじ付き相互挨拶状の送信装置。

【請求項32】 挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させる手順と、

複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取る手順と、

送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送る手順と、

挨拶状の送信と関連して、景品が当選するくじ抽選への応募を設定する手順とを実行することにより、プロセッサに実行させると、プロセッサにくじ抽選付き挨拶状に関するアクティビティを実行させるインストラクションの順序を表示することを特徴とするコンピュータ・データ・シグナル。

【請求項33】 挨拶状の送信者からの入力を受け取って送信者に電子挨拶状を作成させる手順と、

複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受け取る手順と、

送信者により指定された受信者へ電子挨拶状の通知を送る手順と、

50 送信者が送信しかつ受信する全ての挨拶状情報を送信者

に見させる送信者のための個人向けの動的に作成されたウェブページを作成する手順と、受信者が送信しかつ受信する全ての挨拶状情報を受信者に見させる受信者のための個人向けの動的に作成されたウェブページを作成する手順とを実行することにより、プロセッサに実行させると、プロセッサにくじ抽選付き挨拶状に関するアクティビティを実行させるインストラクションの順序を表示することを特徴とするコンピュータ・データ・シグナル。

#### 【発明の詳細な説明】

【0001】本出願は、1997年11月26日付で提出された米国仮出願第60/066,952号に基づき、アメリカ合衆国特許法第120(e)条に基づいて優先権を主張したもので、同出願の全体はこの中に含まれている。1998年8月18日付で仮に提出したその英文の文書もこの中に含まれている。

#### 【発明の属する技術分野】

【0002】本発明は、総じてソフトウェアの応用に係るもので、特に、くじ抽選の登録と結合した電子挨拶状を相互に送受信する方法及び装置に係るものである。

#### 【従来の技術】

【0003】インターネットの普及により、企業もその普及に合わせて利益を得る手段を模索し始めている。ここ数年の間、ウェブサイトは人々が電子「挨拶状(グリーティングカード)」を他人に送信できるようになって来ている。多くの場合、これらの挨拶状は写真や適切なメッセージや挨拶文である。

#### 【0004】

【発明が解決しようとする課題】企業がこのようなインターネット上で挨拶状を出す場合の一つの問題点は、企業のウェブサイトを経由した挨拶状の送信と通常のeメール(電子メール)による送信との間に動機に実際上の差異がないことである。送信者にとっては、電子挨拶状を送信するのに強い動機はない。というのは、送信者は通常のeメールで同様な感情を表現することができ、写真等を添付することもできるからである。電子挨拶状を送信するのに強い動機がないことは、その売上げにも影響する。すなわち、多くの潜在的利用者は電子挨拶状の代わりに、単にeメールを利用するからである。

【0005】従来の電子挨拶状は、何れかという人間の温かさに欠ける欠点がある。挨拶状のメッセージや写真を選択する場合、たとえ良く考えて選択したかも知れないが、このことは受信者には必ずしも明らかでない。また従来の挨拶状を受信者が一旦受け取っても早く読んで忘れてしまう。受信者が挨拶状の受信後、必ずしもそれを再度読み、再度考える強い動機があるともいえない。広告を行なう者はウェブページ上で宣伝して一度広告を読ませるものであり、広告を行なう者は多くの無料電子挨拶状サイトに経済的な支持をしているので、使用者が一度以上読むウェブサイトとウェブページとを創る

ことが望ましい。

【0006】上述のように、広告を行なう者は、多くのウェブサイトを経済的に支持している。しかし、従来のウェブサイトの一つの問題は使用者が頼みもしない「見出し広告」がウェブページに表示されることである。しばしば同じ見出しが各使用者に表示され、多くの使用者は見出し広告を嫌い、余計な頼みもしない不快なものを見ている。そのような使用者は従来の見出し広告を必ずしも良しとしない。

#### 10 【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の実施態様においては、人(「送信者」と呼ぶ)は電子挨拶状を一人以上の受信者に送付することができる。送信する電子挨拶状を選択しデザインする過程に送信者が、受信者が好きだと思ふ複数の潜在的な景品(gift)を選択する過程を含んでいる。電子挨拶状が作られ送付されると挨拶状に抽選くじが付く。挨拶状の入力によって送信者と受信者の両者は結び付き、選択された景品の抽選権が入力される。送信者から受信者に送られる挨拶状は、くじ抽選の入力を有し、受信者と送信者とを結び付ける。入力された挨拶状が抽選で当たると、送信者及び受信者の両者は景品を獲得する。送信者と受信者の両者は後日選択された景品を得たかどうかをオンラインで確認することができる。

【0008】送信者は電子挨拶状を送信すれば景品をもらえるかも知れないので、このことが送信者が通常のeメールを利用する代わりに電子挨拶状を送信する理由になる。送信者は異なる人に電子挨拶状を送れば送るほど、景品を獲得するチャンスが大きくなる。更に、送信者は特に自分が目指す受信者の各々の景品を選択するので、受信者は送信者が受信者の好みを考慮したことを知ることができる。例えばビジネスマンは、もしその仲間がゴルフ好きであることを知っていれば、高価なゴルフクラブを登録することもできる。

【0009】更に、受信者は送信者が景品を考えて選択したことが分かる。もし入力挨拶状が抽選に当たれば、両者は選択された景品を獲得するので、送信者及び受信者の両者は「仲間意識」を持つ。更に、送信者及び受信者の両者は電子挨拶状を思い出す気持ちを持ち、また選択された景品を獲得したかどうかをウェブページで再確認する気持ちに駆られる。このことは、広告者はウェブページを利用して景品の抽選結果を報告する一つの刺激になる。

【0010】本発明は、人々が注意を払いたくなる「ソリシテッド アド(solicited ads)」または「アクセプタンス アド(acceptance ads)」と呼ばれる新しいタイプの広告を可能にする。送信者が景品を選択し見せるプロセスにおいて、自分が興味を持ち調べて選択する広告に自分を露らすので、それを見る人が広告に興味を持つ可能性が大きくなる。広告を選択したわけではないが、

受信者もおそらく受け容れられる広告に興味を示すと思われる。

【0011】少なくとも一つの実施例(すべての実施例ではないが)は、時間感応式の挨拶状(time-sensitive greeting card)を送信することを含む。この実施例は、電子挨拶状を受信者が見る日を示している。電子挨拶状が早く到着して、受信者が所定の時期より前に見ようとした場合(新年間近かのような)、受信者は挨拶状を受信し、それが誰からのものか分かるが、挨拶状を実際に見ることはできない。電子挨拶状は前もって決められた期間まで、例えば、新年の前後2週間またはその他前もって決められた特定の時間まで見ることはできない。もし受信者が前もって決められた期間(例えば、新年と1月16日の間や正確に元旦)に挨拶状を見る場合は、受信者は電子挨拶状に加えて、特別な新年メッセージも見ることができる。もし受信者が所定の時期の後に電子挨拶状を見る場合は、特別メッセージは見えないにしても、挨拶状は見る。

【0012】これに対して、本発明の他の実施例(例えば、暑中見舞い、バレンタインカード等)は、期間感応式挨拶状ではないが、受信された時が何時であろうと使用者は挨拶状を見ることができる。その他の実施例によると、ある種の挨拶状は時間感応式であり、ある種の挨拶状は時間感応式でないようにすることができる。

【0013】更に、ある実施例によると、参加者はある日以降は挨拶状を送れない(例えば新年2週間経過後)。また、ある種の実施例では、送信者及び受信者はそれぞれが、どの電子挨拶状が送信され、受信されたかを示す個人的ウェブサイトを見ることができる。このように各々の電子挨拶状は送信者のページ及び受信者のページに登録される。くじ抽選の後、個人的なウェブページは、受信者または送信者がページを見たとき、各々の受信者・送信者のページが選択された景品を得たかどうかを表示する。上述のように、このことは広告主が景品くじ抽選の結果を報告するウェブページに自分を広告する一つの動機となる。

【0014】ここに実施例として述べかつ概略を記載した本発明の目的によると、本発明はデータ処理システムによる方法に関するもので、送信者からの入力を受け、受信者が電子挨拶状を作成するプロセスと、送信者からの入力を受け受信者が複数の景品の中から一つを選択するプロセスと、送信者が特定した受信者に電子挨拶状の通知を送るプロセスと、景品のくじ抽選の入力を設定し、この入力に電子挨拶状に連結しているプロセスとを含むものである。

【0015】更に、ここに実施例として述べかつ概略を記載した本発明の目的によると、本発明はデータ処理システムによる方法に関するもので、送信者に電子挨拶状を作成させる送信者からの入力を受信し、複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受信し、送信

者が特定した受信者宛の電子挨拶状の通知を送信し、かつ送信者が送受信した全ての挨拶状についての情報を送信者が見ることのできる個人的に動的に作成されたウェブページを作成し、受信者が送受信した全ての挨拶状についての情報を受信者が見ることのできる個人的な動的に作成された(dynamically generated)ウェブページを発生する方法に関するものである。

【0016】更に、ここに実施例として述べかつ概略を記載した本発明は、送信者に電子挨拶状を作成させる送信者からの入力を受信する部分、複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受ける部分、送信者が特定した受信者へ電子挨拶状の通知を送る部分、挨拶状に連結している景品のくじ抽選内に入力を作成する部分よりなる装置に関するものである。

【0017】更に、ここに実施例として述べかつ概略を記載した本発明の目的によると、本発明は送信者に電子挨拶状を作成させる送信者からの入力を受信する部分、複数の景品の中から一つを選択する送信者からの入力を受信する部分、送信者が特定した受信者へ電子挨拶状の通知を送信する部分、送信者が送受信した全ての挨拶状についての情報を送信者が見ることのできる個人的な動的に作成されたウェブページを作成する部分、受信者が送受信した全ての挨拶状についての情報を受信者が見ることのできる個人的な動的に作成されたウェブページを作成する部分よりなる装置に関するものである。

【0018】本発明の利点については、以下の記載においてその一部を述べ、またその一部はその記述からまたは発明の実施から明らかにする。本発明の目的と特徴は、上記した請求項の記載及びその同等物において特に指摘した要素及び組合せにより理解され、かつ達成されるものである。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例を図面を参照して詳述する。同じまたは対応する部分を示すため、同じ参照番号を以下の全ての図面に用いる。

【0020】(1) 一般的検討

【0021】詳細を検討するに先立って、本発明の実施態様を実施するデータ処理方式の例を以下に説明する。図1は、本発明の第1の実施例によるデータ処理方式の例である。図1は、送信者システム102、サーバシステム104及び受信者システム160を含む。これらの方式は3つの方式の代わりに一つまたは二つのデータ処理方式を組み合わせることもできる。サーバ104、送信者システム102及び受信者システム160は適正なデータ処理方式にもなる。各々はプロセッサ110、122及び162と記憶装置112、124及び164を含む。送信者システム102、記憶装置112は、どの適正なウェブブラウザにもなるブラウザソフトウェア114と適正なeメールソフトウェアとなるeメールソフトウェア115とを含む。記憶装置112もブラウザ1

14により表示されるようにダウンロードされた少なくとも一つのウェブページ(例えば、html)118と送信者が送信・受信するeメールメッセージ119とを含む。記憶装置112もソフトウェアにより使用されるデータを含む。本発明の上述の実施例のステップは、コンピュータプログラムの指示がプロセッサ110、122及び162の各一つにより実行されたときに実行される。

【0022】サーバ104の記憶装置124は、ここで述べる機能とeメールソフトウェア129を機能させるサーバソフトウェア125を含む。記憶装置124も送信者に電子挨拶状をデザインさせ、送信者及びまたは受信者が獲得する景品を選択させる一つ以上のウェブページ126(例えば、html)を含んでいる。また記憶装置124は受信者が挨拶状を見れるようにする一つ以上のウェブページ128(例えば、html)を含む。記憶装置124もまた、送受信者がくじ抽選景品を獲得したか否かをチェックできるようにし、かつ送受信した挨拶状を見ることができるようにする付加的な個人ウェブページ(例えば、html、図示せず)を含む。記憶装置124はまた、ソフトウェアに使われるデータ127を含む。このデータは送受信者のペアと送信者が選択した景品のそのようなペアの情報も含ませることができる。

【0023】受信者システム160の記憶装置164は、適当なウェブブラウザにもなるブラウザソフトウェア172と、適当なeメールソフトウェアにもなるeメールソフトウェア166を含む。記憶装置164もダウンロードしてブラウザ172により表示される少なくとも一つのウェブページ(例えば、html)168と送信者(図示せず)が送信したかまたは受信したeメールメッセージを含む。記憶装置164もソフトウェアに使われるデータ170を含む。

【0024】それぞれのシステムには、また、一つのオペレーティングシステム(図示せず)を含むことが望ましい。明快にするために図示していないが、記憶装置にはアプリケーション・オペレーティング・システム、データ等の付加的な情報も含まれていることは当業者にとって明らかである。またデータ処理システム100(またはここで説明する他のデータ処理システム)が、追加データ、ソフトウェア及びまたは、メモリ中の情報、ディスクドライブ、キーボード、ディスプレイ装置、ネットワーク接続、追加メモリ、追加CPU、LAN、入出力ライン等のような多くの図示しない要素を含むことができる。

【0025】本発明は、ある特定の実施例またはプログラム技術に限定されるものではなく、また本発明はここで説明した機能を実施するのに適当な技術を用いて実施することができるものである。本発明は、ある適切なプログラム言語やプログラム技術を用いて、ある適切なオペレーティングシステムで実施できるものである。

【0026】保存領域112、124、164のインストラクション及びデータ構造の一部もしくは全体はコンピュータで読み取り可能であるメディア156(または図示しない同様なコンピュータで読み取り可能であるメディア)から記憶に読み込むことができる。保存領域112、124、164に含まれたインストラクションのシーケンスを実行することによってプロセッサ110、122、162はここで説明するプロセスのステップを実行する。代替の実施例では、本発明を実施するのに、ハードワイアード回路をソフトウェア・インストラクションの代わりにソフトウェア・インストラクションと組合せて用いることもできる。したがって本発明の実施例はハードワイアード回路とソフトウェアの特定の組合せに限定されるものではない。

【0027】ここで使われる言語「コンピュータで読み取り可能な媒体」は、プロセッサに実行させるためのインストラクションを与えるあらゆる媒体を意味する。そのような媒体は、それに限定されるものではないが、非揮発性媒体、揮発性媒体及び伝達媒体を含む多くの形態を採ることができる。非揮発性媒体は、例えば光学ディスクまたは磁気ディスクのような保存装置が含まれる。揮発性媒体は、ダイナミックメモリを含む。伝達媒体は、コンピュータ内のバスよりなるワイアを含む同軸ケーブル、銅線及び光ファイバである。伝達媒体はまた、電波及び赤外線データ通信で発生する音波または光波の形態、またはコンピュータネットワークで伝達される電気信号の形態を採ることができる。コンピュータで読み込み可能な媒体の通常の形態は、例えば、フロッピーディスク、フレキシブルディスク、ハードディスク、磁気テープ、またはその他の磁気媒体、CD-ROM、その他の光学媒体、パンチカード、紙テープ、その他の穴のバターンを有する物理媒体、RAM、PROM、EPROM、フラッシュEPROM、その他のメモリー・チップまたはカートリッジ、後述するキャリアウェーブ、またはその他コンピュータで読み取り可能な媒体である。保存領域112、124、164に保存されたインストラクションは、またインターネット、LAN、WAN、イントラネット、セルラーネットワーク等のような媒体のキャリアウェーブとして伝達することができ、次いで、保存装置112、124または164に保存される。

【0028】(2)電子挨拶状の作成

【0029】図2は、電子挨拶状を送信者から受信者に送信する方法を示す概要図である。概要図は三つの部分を示している。すなわち、電子挨拶状の作成202、受信者へのeメール通知の送付204、及び受信者が電子挨拶状を見ることを可能にすること(例えば、ウェブページを介して)である(できれば、確認eメールは送信者にも送るのが良い)。図2の幾つかのステップは、(送信者に電子挨拶状を作成させるのに用いられる)ブラウザソフトウェア114のような送信者システム10

2のソフトウェアにより実行される。更に、図2の幾つかのステップは、(ウェブページ126を送信者システム102へ送信し、電子挨拶状のウェブページを作成し、eメールを受信者に送信し、そして受信者のブラウザにウェブページ128を送信する)サーバシステム104により実行される。更に、図2の幾つかのステップは、(電子挨拶状を受信者に通知するeメールメッセージを受信する)受信者システム160のeメールソフトウェアと(受信者に電子挨拶状を見ることを可能にする)受信者システム160のブラウザ172により実行される。図2は電子挨拶状を送信するプロセスを示す概略図であるが、後述するくじ抽選を含む詳細は示されていない。

【0030】図3は、電子挨拶状の送受信者が獲得することができるくじ抽選景品を選択する方法の概略図である。図3の実施例では、送信者Aは受信者Bに電子挨拶状を送信しているところである。電子挨拶状を作成するに加えて、送信者は受信者が好むであろうと思われる複数の景品240から一つの景品を選択する。送信者は選択できる景品についての情報を見たいので、景品選択のプロセスは選択できる景品のリスト項目の「アクセプタンス アド(acceptance ads)」広告の例を提供する。次いで上述のように電子挨拶状は受信者に送信される。更に受信者は、景品についての説明を受信し、送受信者のペアは景品を獲得できるかどうかの決定の方法についての説明を受信する。(図3に示されるように、受信者はまた送信者へお返しとしてもう一人の第三者、例えば、Cさんに電子挨拶状の送信を決めることができる。)

【0031】図3に示されるように、送信者が電子挨拶状を送信すると、送受信者のペアと選択された景品を特定して記録し、サーバデータベース127に自動的に入力される。更に示されるように、送受信者の何れかが(後述するウェブページを介して)当選したかどうか質問252を送信すると、サーバ104はデータベース127に照会して、このペアが当選したかどうか254を送信者及びまたは受信者に伝える。

【0032】図4は、送信者が電子挨拶状を作成し送信し、そしてチームとして送受信者が獲得できる景品を選択するステップを示すフローチャート300である。これらのステップは、例えば、サーバシステム104と接続されたブラウザソフトウェア114により実行される。これらのステップは図6ないし図12及び図15の例示ウェブページについて以下に説明する。

【0033】図4のステップ302は、各広告会社に対応する複数の「コース」のうち一つを選択することができることを示している。図6は、送信者が幾つかのコース504のうちの一つを選択するウェブページの例で、これは後で送信者が選択できる景品に影響を与える。説明の実施例では、コース504は景品の適当なカテゴリーやソースに関連しているが、それぞれ異なる広告会社

に関連している。更にある実施例はコースを含んでいないが、種々なソースからの景品の説明を混ぜることができる。コースの使用は景品についての説明のまとめ方の一例と考えられる。

【0034】図6において、送信者が特定のコースを選択すると、送信者はそのコースに支払った広告社が選択した景品をもらうことができる。例えば、ゴルフクラブのメーカーは、幾つかのゴルフ関連景品を持つことができ、一方、自動車メーカーは幾つかの自動車関連景品を持つことができる。これがソリシテッド アド(solicited ads)(アクセプタンス アド(acceptance ads)ともいう)の機会になる。本発明は参加者が見ることを求め、注意を払う気持ちを持つ広告(景品についての説明)である。

【0035】図7は、送受信者がより多くの挨拶状(アイコン550)を作成したいか、あるいは既に受信した挨拶状(アイコン552)を見たいかを決定することができるウェブページの例を示す。もし送信者がアイコン550を選択すれば、図8の過程を開始して景品を選択する。送信者が送信する挨拶状は景品のくじ抽選に入力され、送受信者は両者が共に当選するかまたは両者がともに落選する。

【0036】図4のステップ304は、送信者が(本発明の実施例がコースを含む場合はコースに特有な)景品を選択することを示す。後述するように、景品はチームとしての送受信者は景品を獲得するかまたは獲得できないかである。図8は、送信者が景品を選択して送受信者が当選したり落選したりするウェブページの例を示している。送信者は、包装された景品のアイコン602を押して進める。アイコン602を押すと、図9または図10に示されるページが表示される。

【0037】図9及び図10は、送信者が、送受信者が獲得する複数の景品の中から一つを選択するウェブページの例を示している。両図において、ウェブページの例は、景品として同じまたは異なる項目となる(追加)広告702(通常はコースの所有者による)を含んでいる。両ページはまた、選択されたアイコン706に対応する景品の写真や説明を含んでいる。ウェブページの例は、また複数のアイコンや同様な領域708を含んでいる。これらのアイコン708は、送信者(\*で示される)が現在選択したものとして図中に示したアイコン706を含んでいる。図9において、受信者は第1の景品をアイコン706で選択した。対応する景品についての対応する説明704はウェブページに表示される。送信者はアイコン708の中の他のアイコンを選択することにより他の景品を見ることができる。送信者が現在表示されている景品を選択したいと思えば、「決定」アイコン710をクリックして景品を選択する。図10において、送信者は第3の景品のためにアイコン707を選択している。対応する景品についての対応する説明704

はウェブページに表示される。送信者はその他のアイコン708の中他のアイコンを選択することにより他の景品を見ることができる。後述するようにこの操作により、送受信者のデータベース127に入力が行なわれる。広告702は異なる景品に係るものである。

【0038】図4のステップ306は、送信者が受信者のために電子挨拶状を作成する過程である記載の実施例においては、送信者は特定のコースの第1の挨拶状を送信する前にアンケートに記入することが要求される。送信者がアンケート（図示せず）に記入することを要求されるので、このシステムは送信者への広告の目標が設定できる。ステップ304（景品の選択）及びステップ306（挨拶状の作成）は適当な順番で行なうことができる。図11及び図12はどのようにして送信者が電子挨拶状を作成するかを示すウェブページの例である。挨拶状を作成するウェブページの例は長いので、図11及び図12の二つの部分に示されている。

【0039】図11及び図12のウェブページは、選択された景品をリストする第1の部分802を含んでいる（景品を選択しなければ、この部分はブランクとなる）。また、ウェブページは送信者が記入した名前とeメールアドレスの第2の部分804とを含んでいる。ウェブページにはまた、送信者が領域806に受信者の名前とeメールのアドレスを記入することができる。図示されるように、送信者は一人以上の受信者を選択することができる。記載の実施例では、入力されたそれぞれの受信者は同じ景品を受ける。その他の実施例では、例えばメールリスト上の受信者または多くの名前とeメールのアドレスを登録することによって送信者は非常に多くの受信者を入力することができる。送信者により入力された名前とeメールアドレスは、ウェブの利用についての直接的な市場調査や統計の収集のような種々の目的に使用できる。または、それらの情報は、本発明の実施の方法によっては、厳格に私的なものとして維持することができる。

【0040】図12のウェブページでは、送信者は領域808の電子挨拶状のイラストを選択することもできる。例では、送信者は三つの異なるイラストから選択することができる。任意の数のイラストを送信者に出すことができることは言うまでもない。

【0041】図12のウェブページはまた、送信者が領域810の電子挨拶状のメッセージを表示することができる。例えば、送信者が最初に領域812の幾つかのメッセージのうちの一つを選択し、次いで領域814に自分の個人的なメッセージを入力する。その他の実施例では、送信者はより多くのあるいはより少ない数のメッセージを入力することができる。

【0042】図5のステップ308の送信者が受信者に完成した挨拶状を送信することができる。例では、送信者が電子挨拶状のデザインに満足すると、送信者は「0

K」アイコン852をクリックし、電子挨拶状は記憶用のサーバ104に送られて保存される。この時「Redo from present selection」のアイコン850をクリックすることにより景品の選択をすることもできる。このアイコンのクリックにより送信者は図8に似たページへ送られる。

【0043】最後に、図5のステップ310は挨拶状の入力を自動的に行ない、選択された景品について送受信者両者をくじ抽選に入力する。この入力は、例えばデータベース127に保存されるサーバシステム104へ送受信者についての情報を送ることにより行なわれるのが望ましい。図15は、くじ抽選データベース127への入力フォーマットの例を示す。入力には、入口に係るID1002、送信者のeメールアドレス（またはその他のID）1004、受信者のeメールアドレス（またはその他のID）1006、選択された景品のID1008及びその他の関連のデータ1010が含まれる。示したフォーマットは一例に過ぎず、またその他の適当なデータベースも使用することができる。

【0044】上述の節において、いかに送信者が受信者に電子挨拶状を送付し、チームとしての送受信者が獲得あるいは獲得できないくじ抽選景品を選択するかを説明した。以下において送信者または受信者の何れかがどのようにして送信または受信した挨拶状を見て、獲得できるかもしれない景品を見て、くじ抽選の状態をチェックするかを述べる。

【0045】（3）参加者は景品を獲得した否かをチェックすることができる。

【0046】図5は、送信者または受信者が選択した景品を獲得できたかどうかをチェックする過程を示すステップのフローチャート400である。これらのステップは、例えばサーバシステム104に接続された送信者のブラウザソフトウェア114または受信者のブラウザソフトウェア172により実行される。これらのステップを図13及び図14のウェブページの例について以下に説明する。送信者（または受信者）が図7の「Look」アイコン552を選択すると、制御は図13及び図14のプロセスに進む。

【0047】図13は、送受信者がどの電子挨拶状を送付したか、また送受信者の獲得する景品がどんなものかを送信者または受信者がチェックできるが、送受信者が景品を獲得したかどうかはチェックできない特定個人ののためのウェブページの例を示している。図13のようなページは送受信者が景品を獲得する前に表示されるので、当選落選を表示することは適当ではない。当選落選の表示は図14に示される。

【0048】図13は、「received list」952と「sent list」954を有する特定個人ののためのページを示す。「received list」952には、挨拶状を参加者に送信した者の名前とeメールアドレスが含まれる。



参加者は望むのであれば「Senda card to this person」のメッセージをクリックすることができ、上述した方法に類似した方法で挨拶状を作成できかつ挨拶状を送付した者の景品を選択することができる。このようにして、より多くの利用者が挨拶状を送付するようになる。

【0049】図13のウェブページを使用して参加者は、受信リスト952あるいは送信リスト954のそれぞれの入力アイコン960をクリックすることにより、受領された挨拶状を見ることができる。更に参加者は、受信リスト952のそれぞれの入力アイコン962をクリックすることにより、それぞれの挨拶状の獲得可能な景品を見ることができる。図13のウェブページを使用して参加者は、送信リスト954のそれぞれの入力アイコン964をクリックすることにより、送信された挨拶状を見ることができる。更に参加者は、送信リスト954のそれぞれの入力アイコン966をクリックすることにより、獲得可能な景品を見ることができる。これらの検索機会により参加者が何度も特定個人ののためのページを見たり、参加者が見る広告を望む広告会社は魅力あるページを制作する。また参加者も種々の景品を何回獲得する機会があるかを見るためページに戻るようになる。

【0050】図14は、送信者または受信者（参加者という）の一人がどの電子挨拶状を送信したかをチェックし、どの景品を獲得できるかをチェックし、景品を獲得したか否かをチェックすることのできる特定個人ののためのウェブページの例を示す。特定個人ののためのウェブページは総じて同業者に知られた方法でサーバ104によって作成される。一度、サーバ104がウェブページを要求している参加者のeメールアドレス、パスワード（またはその他の所定のID）を知れば、サーバはデータベース127をサーチして、参加者は誰に挨拶状を送信したか、誰から挨拶状を受信したかを決定することができる。次いで、サーバ104は参加者のブラウザが表示するため、図13及び図14に示されるような特定個人のためのウェブページを作成する。

【0051】図14において、「Received list」902の各入力の横にあるのが「当選(Win)」表示または「落選(Lose)」表示であって、参加者のペア及び挨拶状を送受信した他の者が景品を獲得したかまたは獲得できなかったかを示している。当選落選の表示は、くじ抽選が行なわれて誰かが景品を受けるまで表示されないことは言うまでもない。実施態様では、新年の時期が数日過ぎて全ての景品が与えられるが、その他の実施態様では、景品が毎日または毎月周期的にもしくは他の適当なイベントに関連して与えられる。景品の決定は頭から名前を抽選する人によるかまたはその他の適当な方法で行なわれるが、電子的に無作為に選んで行なわれる。

【0052】図17は、送信者が挨拶状を作成した後ウェブページを表示する例を示す。例えば、使用者が図

13及び図14のアイコン964をクリックすると、図17のページが表示され、使用者は自分の送信した挨拶状を見ることができる。受信者がアイコン962をクリックすると、受信者も同様なページを見ることができる（「これはあなたの受信した挨拶状です」というタイトルがある場合は除く）。

【0053】(4)ある実施態様における時間感応性

【0054】図16は、受信者が電子挨拶状を見る日、時間がいかに電子挨拶状の表示に影響を与えるかを示す本発明の実施態様の概略図である。本発明の他の実施態様は前記の日、時間感応のアスペクトを持っていないが、常に同じ様式で電子挨拶状を表示する。ここは留意すべきである。図16に示されるように全体のプロセスは三つの時期に分かれている。記述の実施態様は年賀状の送受信の場合なので、説明されている時期は新年の前夜である。その他の実施態様は、その他の休日、日、季節（例えば、春）、またはその他の時期（例えば、週単位の休暇、月単位の休暇）または一日以内の極めて短い期間のものである。

【0055】説明の実施態様では、電子挨拶状は11月28日から1月16日の間に送信者が作成する。送付した年賀状は1月1日から3月2日の間に受信者が見ることができる。受信者がいつ見たかにより、受信者は異なった挨拶状を見ることができる。送信者は新年の後に挨拶状を送信できるが、ある種の見る選択肢はこれらの挨拶状にむしろないので、新年には見ることができない。

【0056】図で説明されているように、挨拶状のテキスト及びイラストは12月31日以前に受信者は見ることができない。受信者が挨拶状を見ようとすると、受信者は見ることができない旨のメッセージを受ける。しかし、受信者は誰が受信者に挨拶状を送信したか、また誰に挨拶状を送信しているかを示す図13及び図14のような特定個人ののためのウェブページを12月31日前ならいつでも見ることができる。また、参加者は、自分が送信したかまたは受信した挨拶状から自分の獲得可能な景品をいつでも見ることができる。しかし、使用者自身が受信した挨拶状について12月31日以前に「display card」アイコンをクリックすると、新年まで電子挨拶状は見ることができませんという表示を受ける。参加者は常に他人に送信したカードの内容を見ることができ

る。

【0057】特定個人ののためのウェブページには常に広告がある。記載の実施態様では、特定個人ののためのウェブページ（及びシステムその他のウェブページ）の見出し広告の略70%は、送信者が記入したアンケートの入力データにより運用される。したがって送信者（及び受信者）のウェブページの目標とするバナー広告は送信者が入力したものにより駆動される。

【0058】最初に挨拶状が送信されると、システムは、自動的に受信者に挨拶状があること及び受信者がそ

れを特定個人のためのウェブページから見ることを受信者に通知するeメールを送信する。記載の実施態様では、受信者はeメールアドレスとeメール通知にあるパスワードとを入力することにより、ウェブページを見ることができる。またシステムは、挨拶状が送付されサーバシステムにうまく受け入れられ保存されたか、また送信者がウェブページから挨拶状を見られるかを、送信者に知らせる確認eメールを送信する。実施態様では、受信者は1月1日に挨拶状を見るよう通知するeメールを送信する例である。受信者は1月1日から3月2日までの間に受信挨拶状を見ることができる。前もって決められた期間に見れる電子挨拶状により、選択した挨拶状に加えて、特別な年賀状（または特別な広告）及びおそらくアニメーションまたはその他の特別なアスペクトを表示することができる。そのような特別なページの例は図18に示す。この特別のスクリーンは新年の前後もしくは新年を挟む非常に短い期間（例えば、2週間）だけ表示することができる。記載の実施態様では特別なスクリーンが、挨拶状が元旦から1月16日の間に見る場合に表示される。上述のように受信者は自分の特定個人のためのウェブページのアイコンを使って、今度は自分に挨拶状を送信してくれた人たちに挨拶状を送信しようという気持ちを起すようになる。

【0059】更に図示されるように、記載の実施態様では、選択した景品は2月2日に与えられる。受信者（及び送信者）は、この日以降に景品を獲得したかどうかを知るため特定の個人のためのウェブページを見ることができる。このように、それぞれの送信者及び受信者は挨拶状を見た後、再び特定の個人のためのウェブページを見るようになり、そして参加者は特定の個人のためのページ上の広告を見る回数が増えていく。送信者と受信者はチームとして景品を獲得する。すなわち、入力挨拶状がくじ抽選で当たって送受信者の何れかが勝てば、送受信者の双方が景品を獲得できる。記載の実施態様では、勝利者は自分が景品を獲得したか否かをファクシミリでセントラル・ロケーションに通知する。

【0060】本発明の少なくとも一つの実施態様は、他人のeメールアドレスを了解なしに挨拶状を作成しようとした場合あるいは存在しないアドレスで同様なことをした場合（くじ抽選に入力しようとして）の問題を取り扱う。この実施態様では、このような不正行為を防ぐために送信者に確認のメールを送信及び追跡する。確認のメールが何かの理由で戻されると（例えば、メールサーバが不正のアドレスであると判断した場合等）、システムはこのアドレスは不正の可能性があると判断する。あるアドレスが不正であるとシステムが決定すると、使用者はこのアドレスで新しい挨拶状を作成することはできない。

【0061】本発明の少なくとも一つの実施態様は、一人の送信者が100万の挨拶状を作成し送信した場合の

問題を解決している。この行動によりシステムは故障するかあるいは非常に遅く作動するようになる。この行動は、例えば、送信者が自動入力ソフトウェアプログラムを作成使用して行なわれる。この可能性を避けるために、本発明の少なくとも一つの実施態様では、送信できる挨拶状の数に関して送信者にある条件を設定している。例えば、

1) 送信者はそれぞれのコースにおいて特定の受信者（ある特定のeメールアドレス）にただ一つの挨拶状を作成送信できる。または、

2) 送信者はそれぞれのコースにおいて（例えば）100以上の挨拶状を作成送信することはできない。

【0062】挨拶状枚数は、前もって制限でき、また異なる使用者または使用者の異なるクラスにより異なるものに行うことができる。

【0063】

【発明の効果】要するに、本発明は、送信者が一人以上の受信者に電子挨拶状を送り、送信者が選択した景品について送受信者の双方をくじ抽選に自動的に入力する方法及び装置を提供する。送受信者の何れかが当選すれば、双方とも景品を獲得することができる。送受信者双方は、選択した景品を獲得できたかどうかを後でオンラインでチェックすることができる。本発明の少なくとも一つの実施態様は、電子年賀状（または他の特別の休暇の挨拶状）の送信に関するものである。この実施態様は、受信者が電子挨拶状を見た日を記録する。電子挨拶状が早く到着し、新年の前に見ようとする場合、受信者は挨拶状を受信したことを言ってもいいが、実際に見ることはできない。電子挨拶状自体は新年まで見ることはできない。

【0064】以上、本発明の特定の実施態様について説明したが、上述の説明に基づいて当業者にとって多くの代替例、修正または変形が可能であることは明かである。したがって、添付のクレーム及びその相当物の精神及び範囲内に属する上述の全ての代替例、修正または変形を包含するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例によるデータ処理システムのブロック図である。

【図2】電子挨拶状を送信者から受信者に送信する方法を示す説明図である。

【図3】電子挨拶状の送受信者が獲得することができるくじ抽選景品を選択する方法を示す説明図である。

【図4】送信者が電子挨拶状を作成しかつ送信することができ、チームとして送受信者が選択する景品を獲得する実施ステップを示すフローチャートである。

【図5】送信者または受信者が選択し景品を獲得できたか否かをチェックすることができる過程を示すフローチャートである。

【図6】送信者が後に選択できる景品に影響する幾つか

のコースのうちの一つを選択するウェブページの実施例を示す説明図である。

【図7】送受信者がより多くの挨拶状を既に受信または送信した挨拶状を見たか否かを決定できるウェブページの実施例を示す説明図である。

【図8】送受信者が獲得される景品を送信者が選択できるウェブページの実施例を示す説明図である。

【図9】送信者が送受信者が獲得する複数の景品からそれぞれ一つの景品を選択することができるウェブページの実施例を示す説明図である。

【図10】送信者が送受信者が獲得する複数の景品からそれぞれ一つの景品を選択することができるウェブページの実施例を示す説明図である。

【図11】送信者がいかにして電子挨拶状を作成するかを示すウェブページの実施例を示す説明図である。

【図12】送信者がいかにして電子挨拶状を作成するかを示すウェブページの実施例を示す説明図である。

【図13】送受信者が何れの電子挨拶状を送信したかをチェックすることができるが、景品を獲得したかどうかはチェックすることができない特定の個人のためのウェブページの実施例を示す説明図である。

【図14】送受信者がどの電子挨拶状を送信したかをチェックすることができ、かつ景品を獲得したかどうかをチェックすることのできる特定の個人のためにウェブページの実施例を示す説明図である。

【図15】くじ抽選のデータベース127に入力されるフォーマットの実施例を示す説明図である。

【図16】本発明の挨拶状が時間感応式である場合の実施例を示す説明図である。

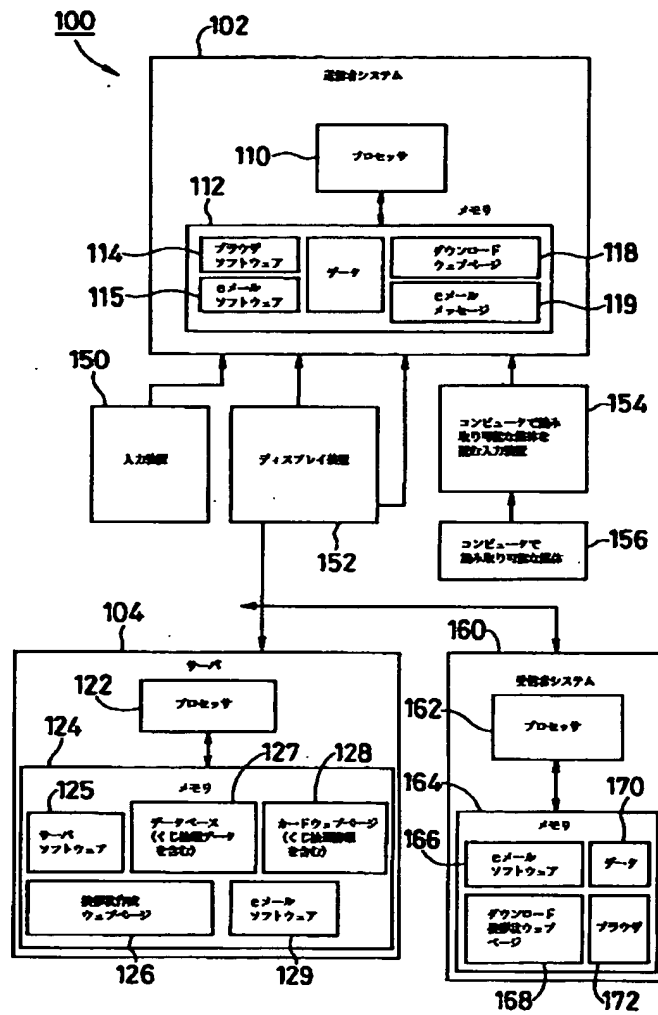
【図17】挨拶状の実施例を示す説明図である。

【図18】挨拶状が前もって決められた時期に見られる時に表示される特別な表示スクリーンの実施例を示す説明図である。

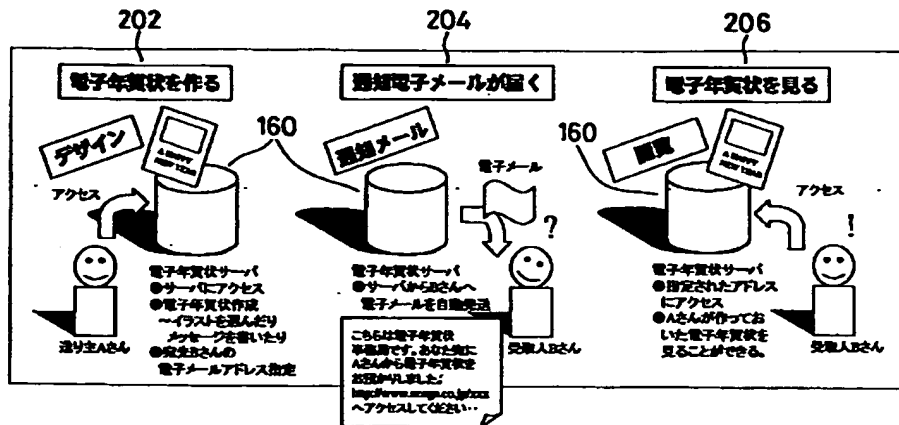
# 【符号の説明】

- 102 送信者システム
- 110 プロセッサ
- 112 メモリ
- 114 ブラウザソフトウェア
- 115 eメールソフトウェア
- 118 ダウンロードウェブページ
- 119 eメールメッセージ
- 150 入力装置
- 152 ディスプレイ装置
- 154 コンピュータで読み取り可能な媒体を読む入力装置
- 156 コンピュータで読み取り可能な媒体
- 104 サーバ
- 122 プロセッサ
- 124 メモリ
- 125 サーバソフトウェア
- 126 挨拶状作成ウェブページ
- 127 データベース(くじ抽選データを含む)
- 128 挨拶状ウェブページ(くじ抽選情報を含む)
- 129 eメールソフトウェア
- 160 受信者システム
- 162 プロセッサ
- 164 メモリ
- 166 eメールソフトウェア
- 168 ダウンロード挨拶状ウェブページ
- 170 データ
- 172 ブラウザ
- 1002 くじ抽選番号
- 1004 送信者eメールアドレス
- 1006 受信者eメールアドレス
- 1008 選択景品

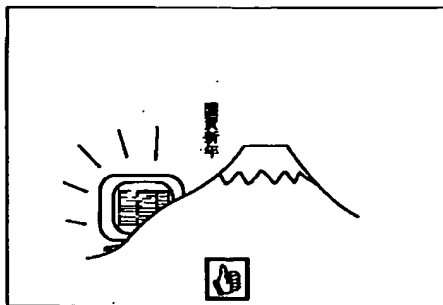
【図1】



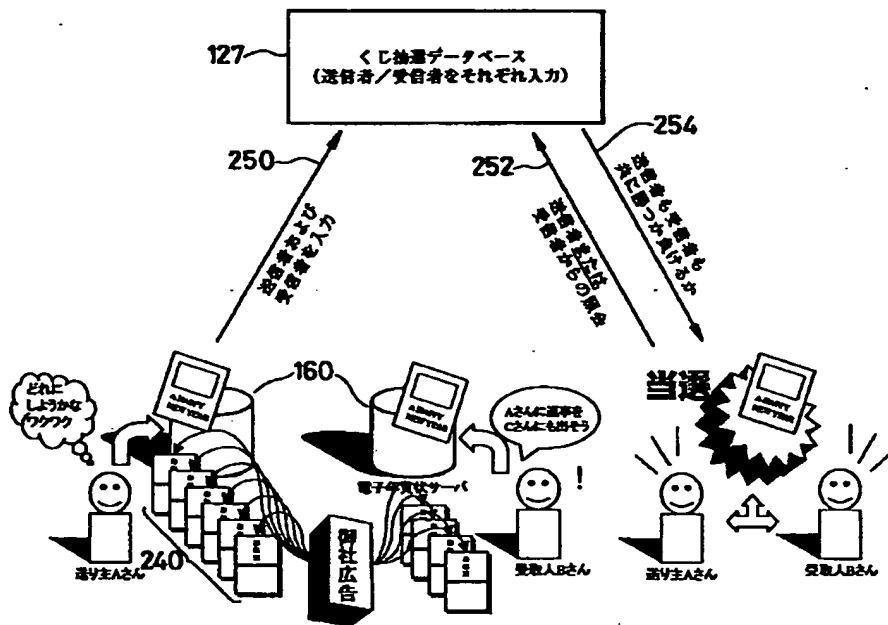
【図2】



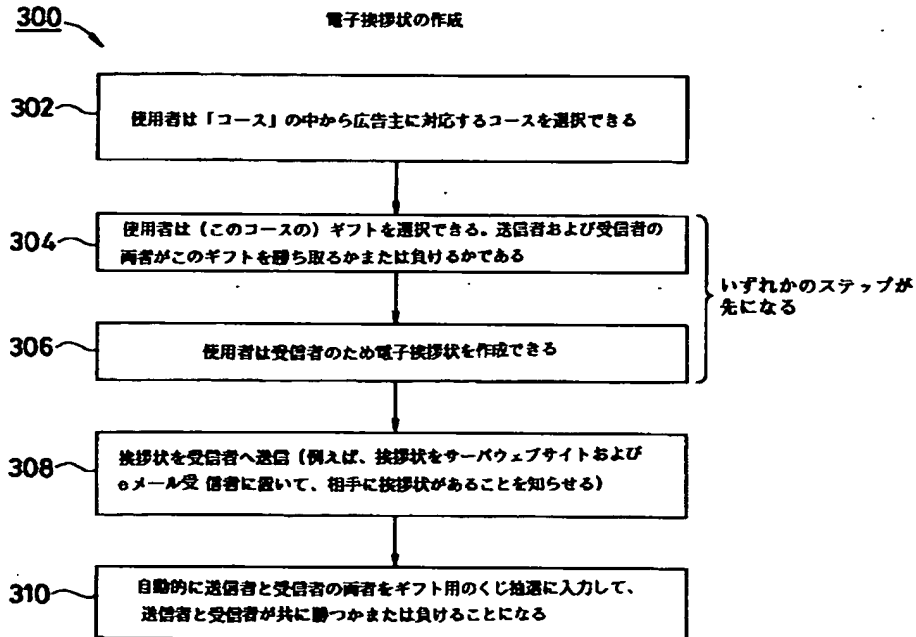
【図18】



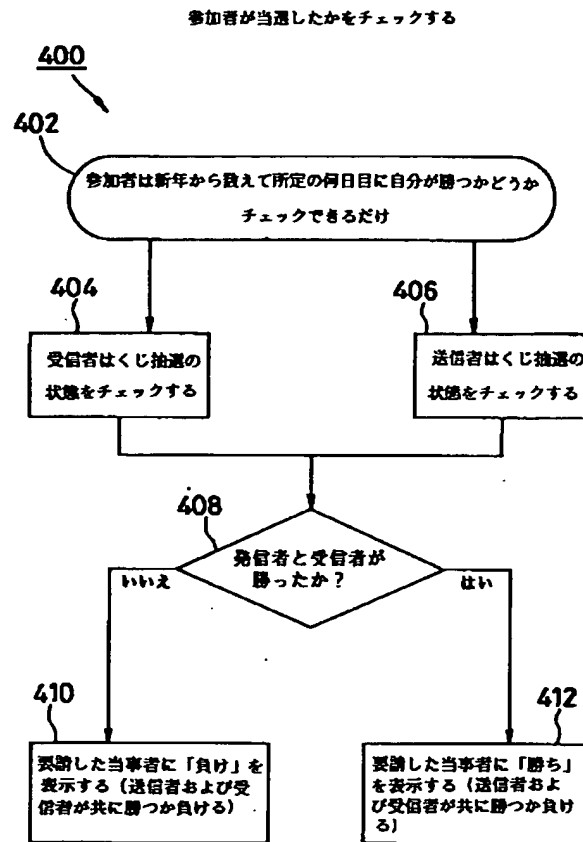
【図3】



【図4】

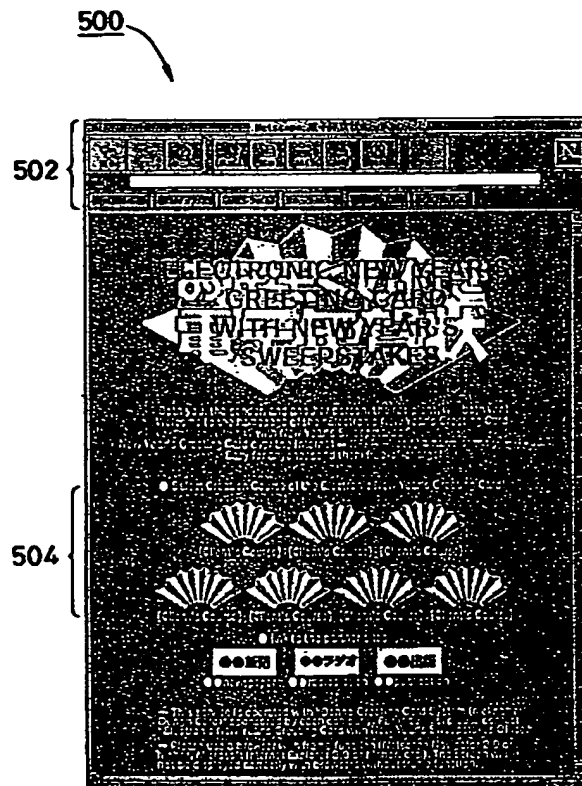


【図5】

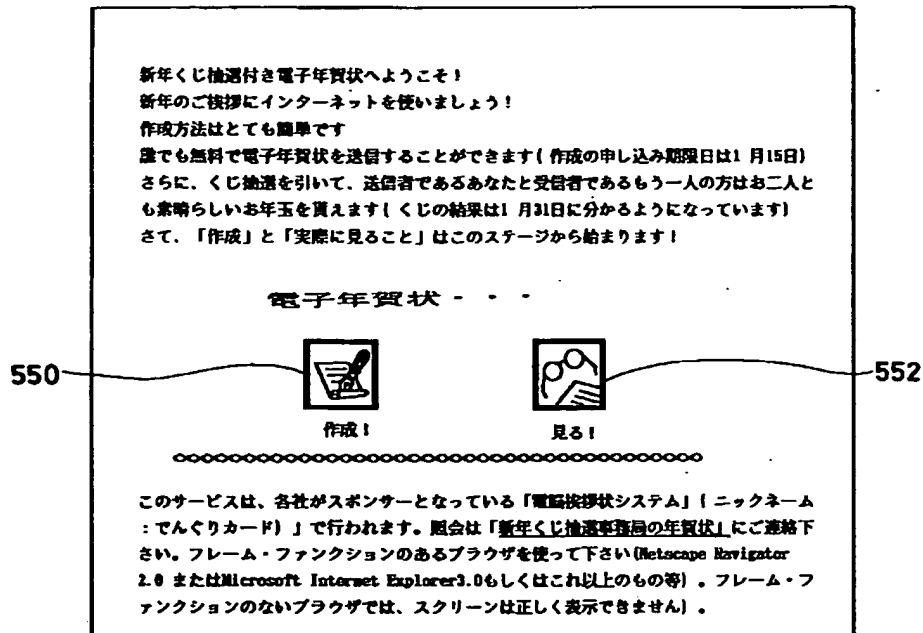




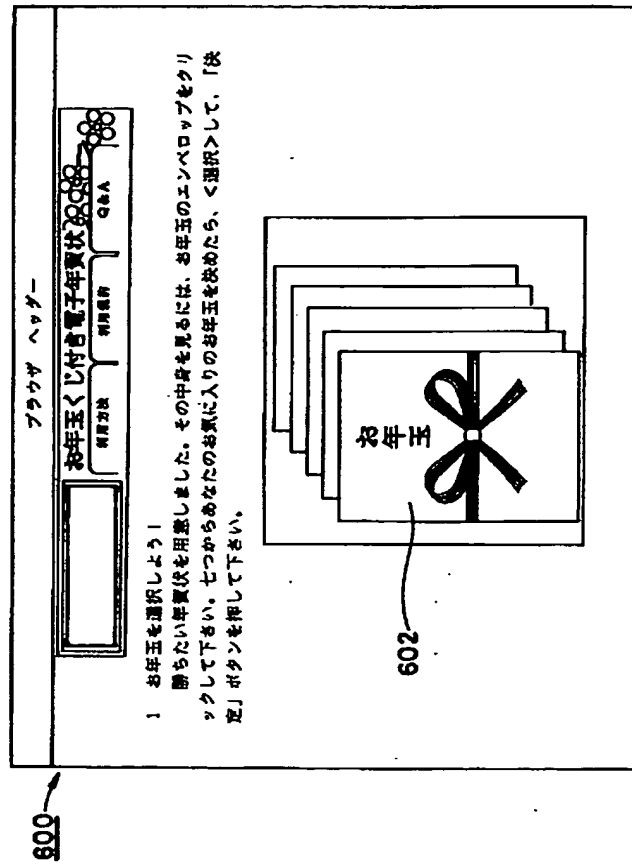
【図6】



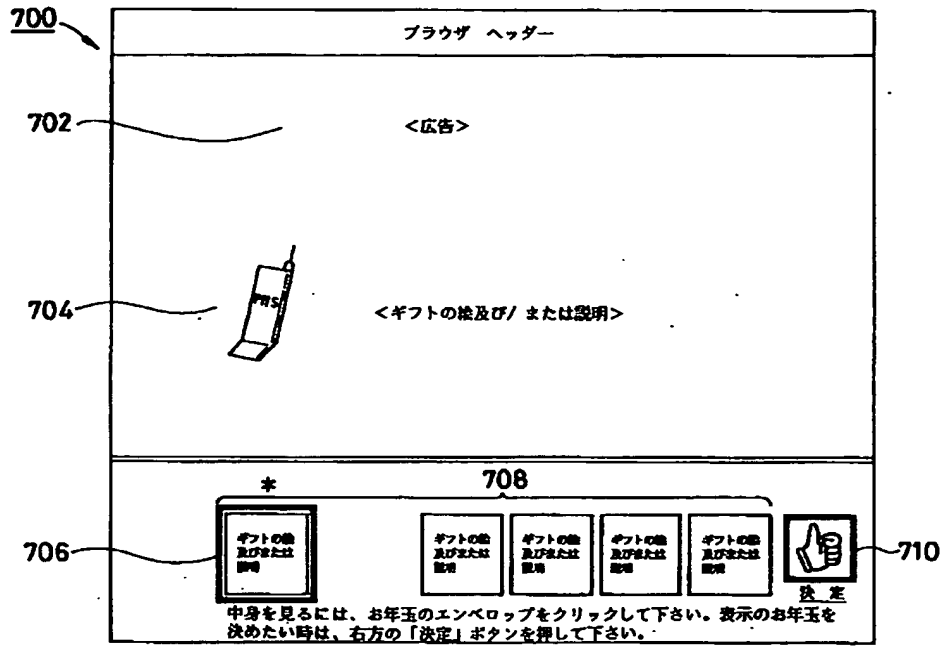
【図7】



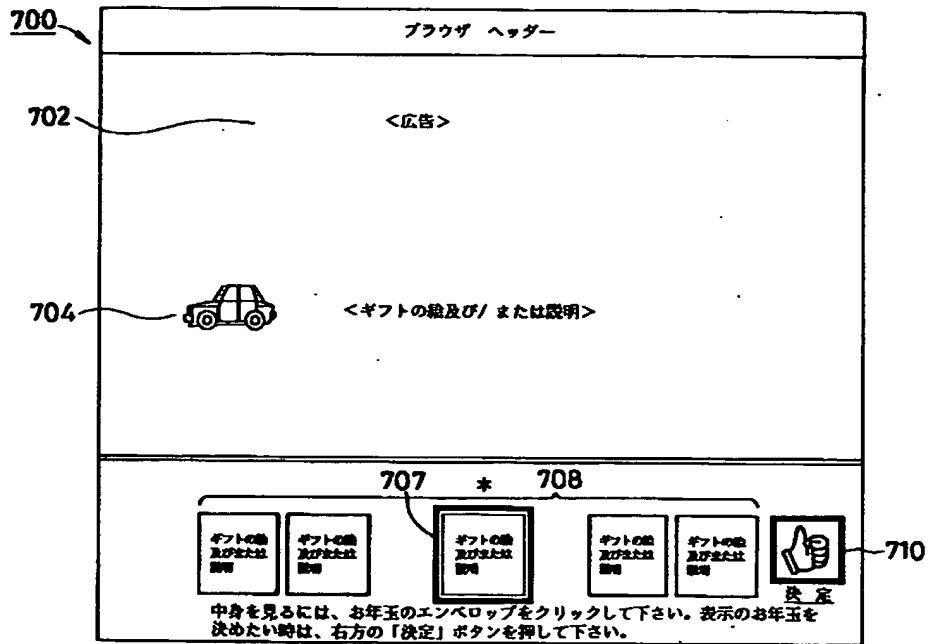
【図8】



【図9】



【図10】



【図11】

800

ブラウザ ヘッダー

お年玉くじ付き電子年賀状 8000  
 利用方法 印刷方法 Q&A

1 あなたが選択したお年玉は・・・  
 802 \*\*\*\*\*

2 あなたの氏名とメールアドレスを入れて下さい。  
 804  
 ※ 貴氏名  
 田野 太郎  
 ※ 貴のメールアドレス  
 t-donno@nkcshoda.co.jp

3 受贈者の氏名とメールアドレスを入れて下さい。  
 806

※ 同じギフト、同じイラストおよび同じメッセージが受贈者へ送付されます。  
 ※ 抽選は一枚だけ。特定のメールアドレスからもう一つの特定のメールアドレスへ送付されます。  
 ※ 抽選は、同じメールアドレスでは送付できません。

※ 第一番目の人  
 田野 花子  
 ※ Eメールアドレス  
 t-donno@nkcshoda.co.jp

※ 第二番目の人  
 田野 次郎  
 ※ Eメールアドレス  
 t-donno@nkcshoda.co.jp

※ 第三番目の人  
 ※ Eメールアドレス


※ 第四番目の人  
 ※ Eメールアドレス


※ 第五番目の人  
 ※ Eメールアドレス


【図12】

ブラウザ ヘッダー

4 イラストを選択して下さい。

  
 これはイラスト#1です

  
 これはイラスト#2です

  
 これはイラスト#3です

808

5 メッセージを入力しましょう！

上で選んだ  
イラストが  
入ります。

Fで選ぶ「おめでとう」が入ります。

Fで記入する「あなたのメッセージ」が入ります。

810

812

ご挨拶を選択して隣の欄に入れて下さい。

日本語のメッセージ1 ・ 新年おめでとうございます。

日本語のメッセージ2 ・

日本語のメッセージ3 ・

日本語のメッセージ4 ・


なし


メッセージをブルー欄に記入して下さい。ただしリターン・キイ・コマンドは100回までは改行されません。

814

日本語のコメント

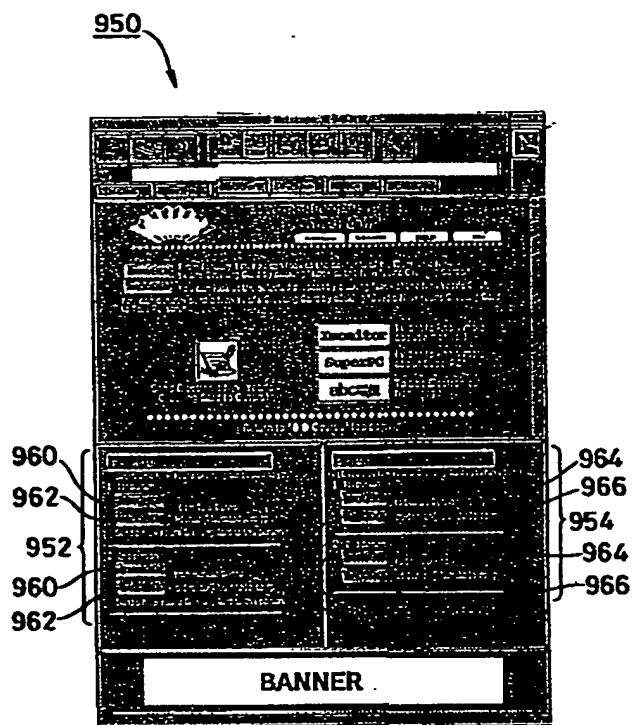
850

  
 プレゼントの選択からやり直して下さい。

  
 オークです！

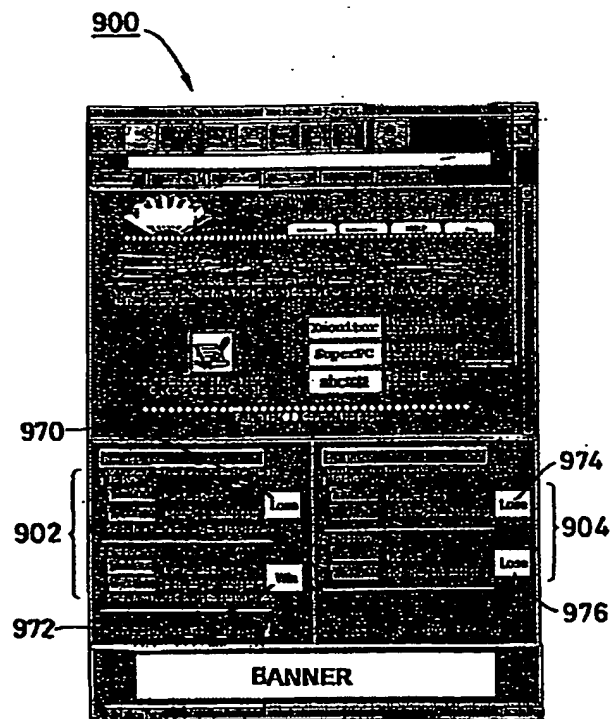
852

【図13】

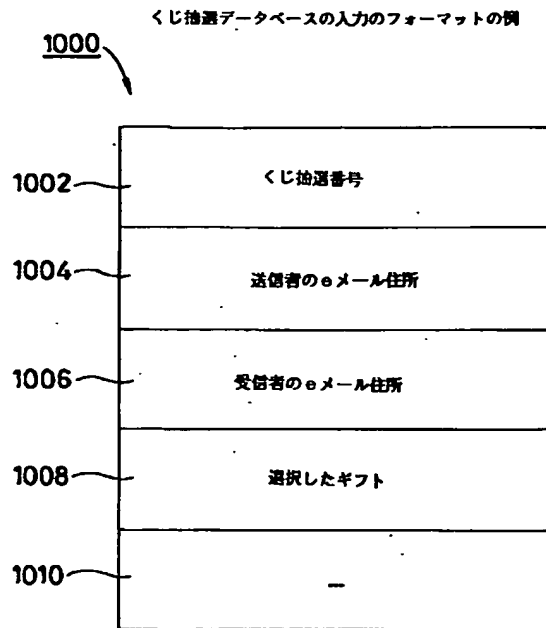




【図14】

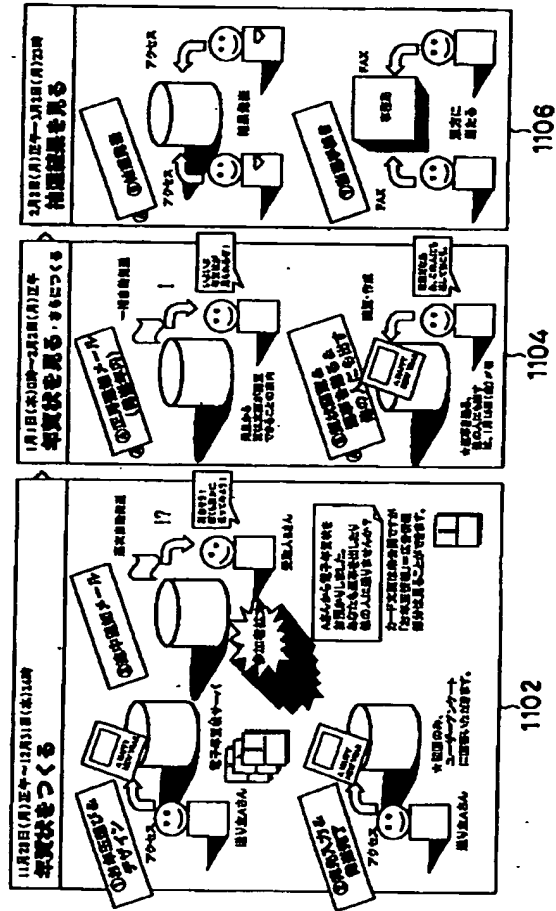


【図15】

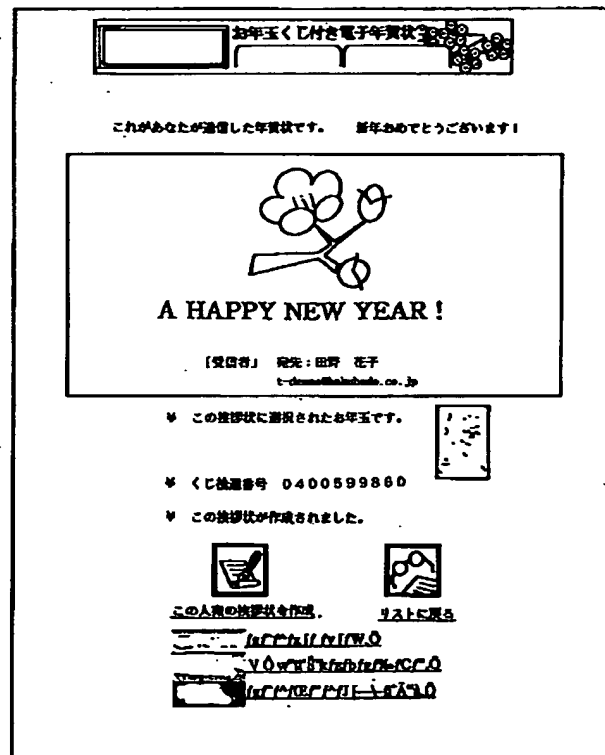


【図16】

●イベントプロセスは、全体で大きく3つの期に分れます。



【図17】



【手続補正書】

【提出日】平成10年12月2日

【手続補正1】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

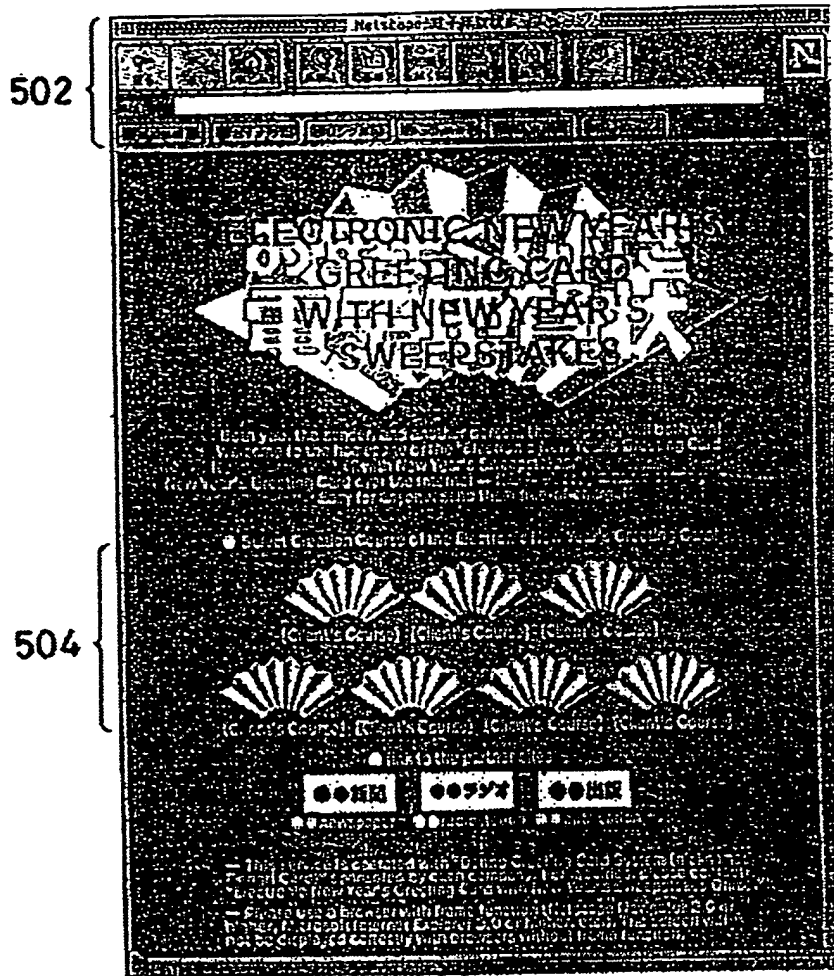
【補正方法】変更

【補正内容】

【図6】

500

図面代用写真



【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図13

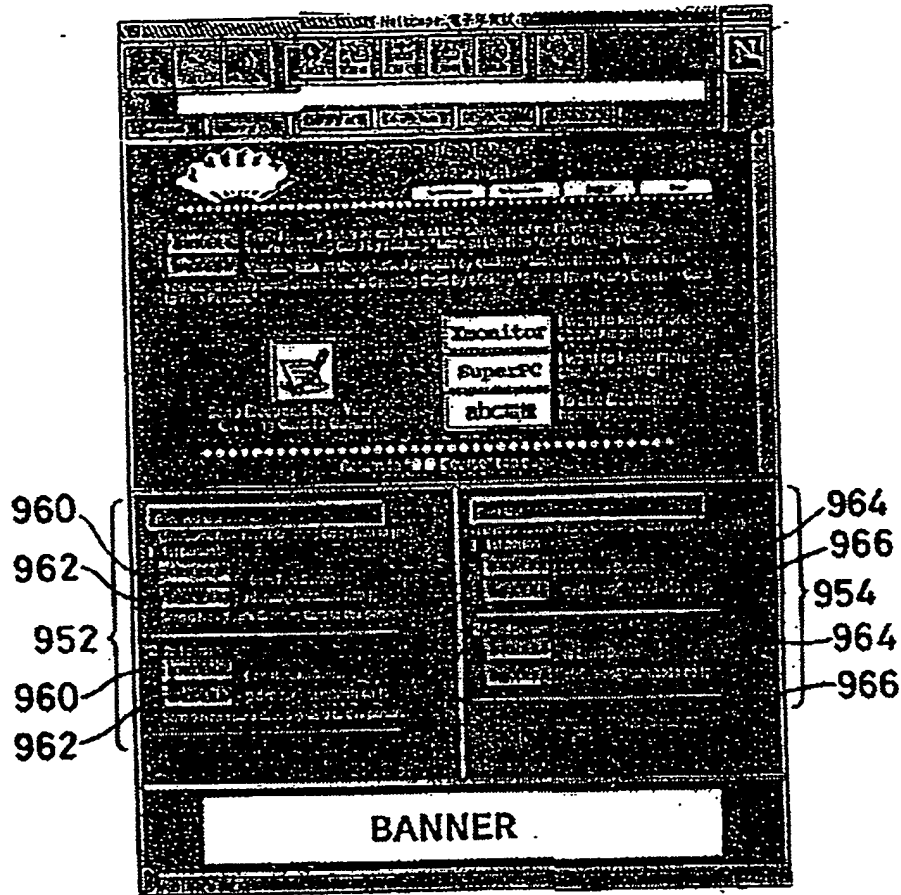
【補正方法】変更

【補正内容】

【図13】

950

図面代用写真



【手続補正3】

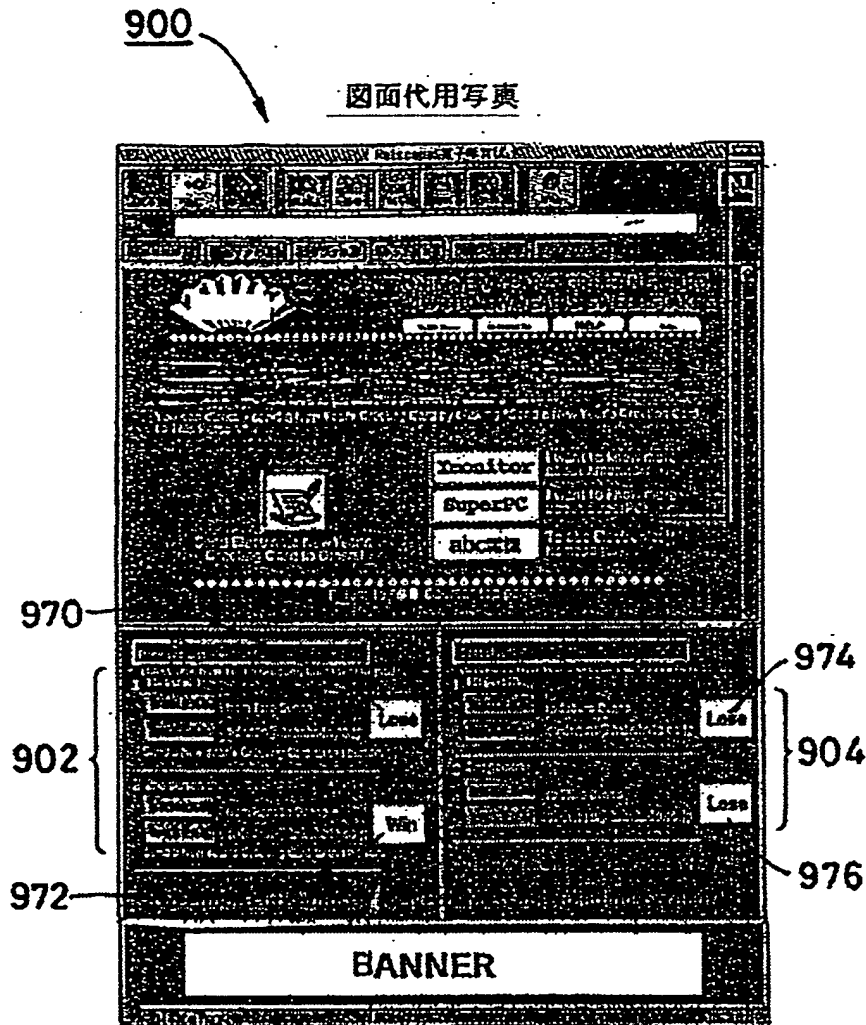
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図14

【補正方法】変更

【補正内容】

【図14】



フロントページの続き

(72)発明者 福田 敏也  
神奈川県川崎市幸区北加瀬1-11-11-207

(72)発明者 内田 哲也  
東京都世田谷区船橋2-13-5-404

(72)発明者 杉山 豊  
東京都新宿区大京町20-4 スターロワイヤル四谷大京町207

(72)発明者 秋原 正俊  
東京都港区三田2-4-18-209

(72)発明者 平塚 元明  
東京都品川区上大崎1-14-2

This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☒ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images  
problems checked, please do not report the  
problems to the IFW Image Problem Mailbox**